正10年9月30日

139

5-8

6-8

~~趣~~旨

勞働問題ノ解決ハ勞資ノ自覺ニ俟タザル可ラズ然シテ勞働運動ハ勞働者自ラノ運動ニテ決シテ他ニ頼ルベキモノニ非ズ現在利害關係ヲ共ニセザル人々ガ主トシ運動ヲ司ル結果ハ往々ニシテ勞働者ノ眞意ニ反シ又社會ノ誤解ヲ招キ其他幾多ノ弊害ヲ生ズルコト尠カラザルハ吾人ノ遺憾ニ堪ヘザル處ナリ凡テ人トシテ意識シ人格ノ向上生活ノ安定ヲ圖リ文化的生活ヲ享受シ産業ノ發展ヲ期スルニハ宜シク純勞働者ニ依リテ健全ナル組合ヲ組織シ以テ福利ノ増進ヲ圖ラザル可カラズ茲ニ於テ吾人ハ健實ナル組合ヲ組織シ社會共存ノ原理ニ基キ合理的運動ニ依リテ相互ノ幸福ヲ増進セントス

~~綱~~領

一、本組合ハ社會公正ヲ基礎トシ相互扶助ニ依リ共存ノ意義ヲ完フス

二、本組合ハ一致團結シテ地位ノ向上、生活ノ安定ヲ圖ルヲ目的トス

三、本組合ハ社會的ニ自覺シ産業ノ發展ヲ圖リ人類ノ福利ヲ増進センコトヲ期ス

~~本~~組合規定

陸軍現業員組合

第一章　總則

第一條　本組合ハ大正十年九月二十二日ヲ以テ成立シ事務所ヲ東京市牛込區水道町四八番地ニ置ク

第二條　本組合ハ陸軍現業員組合ト稱ス

第三條　本組合ハ陸軍勞務者ヲ以テ組織ス

第四條　本組合ハ本部ヲ東京ニ置キ支部ヲ各所ニ置ク

第五條　本組合ハ趣旨綱領ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二章　會員

第六條　本組合員ハ陸軍勞務者ニシテ本組合ノ趣旨綱領ヲ賛成シタルモノハ男女ヲ問ハズ加入スルコトヲ得

第七條　本組合ニ加入セントスルモノハ申込書ニ記名捺印シテ申出ヅベシ

第八條　本組合員ニシテ脱退セントスルモノハ其理由ヲ所屬役員ニ申出ヅベシ

第九條　本組合員ハ維持費トシテ毎月金拾錢ヲ納入スルモノトス

第十條　本組合員ニシテ組合ノ體面ヲ汚シ義務ヲ怠リタルモノハ役員會ノ決議ヲ經テ除名スルコトアルベシ

第十一條　本組合員ハ組合ノ目的ヲ達スル爲メ最後マデ鞏固ナル意志ヲ以テ義務ヲ完フスルモノトス

第三章　役員

第十二條　本組合ハ時宜ニ依リ顧問又ハ相談役ヲ推戴スルコトアルベシ

第十三條　本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一、理事長　一名　副理事長　一名

二、理事　若干名

三、會計主任　一名

四、會計監督　二名

第十四條　役員ノ選擧法左ノ如シ

一、理事ハ本組合總會ニ於テ組合員中ヨリ一般投票ヲ以テ選擧ス

二、理事長及ビ副理事長ハ理事互選ニ依リ之ヲ定ム

三、會計主任及會計監督ハ役員會ニ於テ之ヲ定ム

第十五條　役員ノ任期ハ滿一ヶ年トス但シ補缺ノ場合ハ役員會ニ於テ之ヲ任命ス

第四章　會議

第十六條　本組合ハ春秋二回總會ヲ開催ス尚ホ必要ニ應ジ臨時總會ヲ開クコトアルベシ但シ理事長ハ凡テノ會議ニ於テ議長トス若シ事故アルトキハ副理事長之ニ任ズ理事ハ議長ヲ補佐シ事務ヲ整理ス

第十七條　本組合ハ毎月一回役員會ヲ開ク但シ組合員ハ何人ト雖モ傍聽スルコトヲ得

第十八條　本組合員ハ總會又ハ役員會ニ議案ヲ提出セントスルモノハ組合員十名以上ノ同意ヲ要ス

第十九條　本組合ノ役員會ハ出席人員ガ二分ノ一ヲ下ルトキハ開會スルコトヲ得ズ但シ二分ノ一ニ達セザルトキハ再度招集シ尚ホ規定ノ人員ニ充タザルモ會議ヲ斷行スルモノトス

第二十條　本組合ノ總會及役員會ノ決議ハ出席人員三分ノ二以上ノ協贊ヲ得テ決定ス

第二十一條　本組合ノ規則ハ一般ニ公布シタル後効力ヲ生ズルモノトス

第五章　會計

第二十二條　本組合ノ維持ハ維持費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第二十三條　本組合ノ會計年度ハ毎年三月九月ノ二期ニ決算シ之ヲ總會ニ於テ報告ス

第二十四條　本組合ノ基金ハ理事長ノ名義ヲ以テ郵便局ニ預ケ置キ通帳ハ會計主任之ヲ保管ス

第二十五條　本組合員ニシテ通帳及其他ノ帳簿ヲ閲覧セントスルモノハ役員ノ承諾ヲ要ス

第六章　事業

第二十六條　本組合ハ毎月一回機關雜誌ヲ發行シ組合員ニ配付ス

第二十七條　本組合ハ統計部ヲ設ケ組合員一般ノ生活狀態及其他ノ事項ヲ調査スルコトアルベシ

第二十八條　本組合員ニシテ失職ノ事情ニ因リ組合基金ノ内又ハ義損金ヲ募リ之ヲ救濟スルモノトス但シ役員會ノ協贊ヲ要ス

第七章　附則

第二十九條　本組合ノ解散又ハ他ノ組合ト提携合併セントスルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ決定ス

第三十條　本則ノ外支部細則ハ別ニ之ヲ定ム

發起者
- 精器製造所　有志
- 小銃製造所　有志
- 東京檢査部　有志
- 砲具製造所　有志

……………… 切　取　線 ………………

加入申込書

拙者貴組合の趣旨綱領及組合規定を賛成し加入申込候也

大正　　年　　月　　日

現住所

就職工場

氏名

年　　月　　日生

陸軍現業員組合御中